

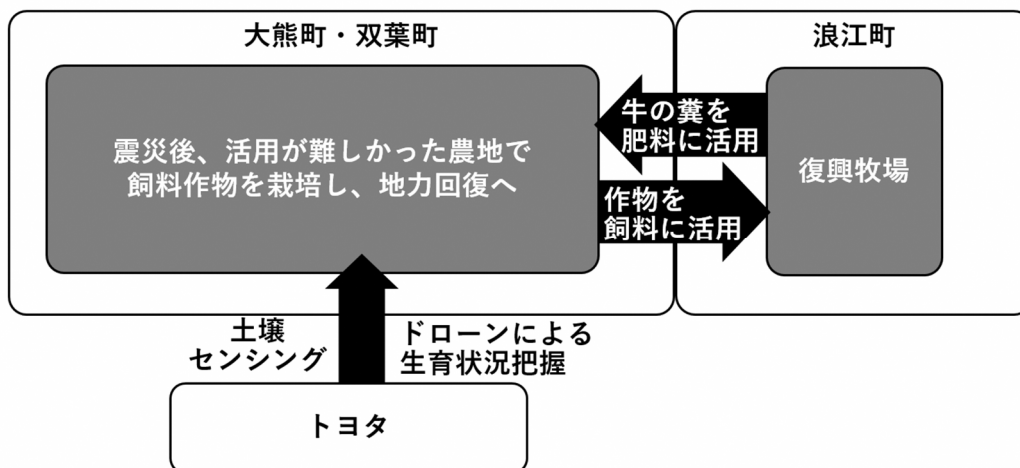
大熊町・双葉町・浪江町とトヨタ自動車、カーボンニュートラルに関する連携協定を締結 ～東日本大震災からの復興に向け、酪農と飼料栽培を通じた循環型農業を目指す～

大熊町（福島県双葉郡大熊町）、双葉町（福島県双葉郡双葉町）、浪江町（福島県双葉郡浪江町）、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）の4者は、「カーボンニュートラルに関する連携協定」（以下、本協定）を本日締結しました。

大熊町・双葉町・浪江町の3町は、東日本大震災などによる避難指示の一部解除を受け、震災からの復興を一段と加速するにあたり、カーボンニュートラルに向けた取り組みを強化することにより地域の持続可能性を高めたいと考えています。トヨタも福島県において、復興への貢献を念頭に多くのパートナーの方々と連携した取り組みを進める中で、農業分野の研究・開発で培ってきた成果の活用を通じて、3町の復興およびカーボンニュートラルの実現に貢献したいと考え、本協定の締結に至りました。

本協定の下、以下の取り組みを進めてまいります。

大熊町 双葉町	<ul style="list-style-type: none"> 震災以来活用が難しかった農地を活用し、2020年代半ば以降、作物栽培により地力の回復をはかる 農地で育てた作物を浪江町の復興牧場の牛の飼料としても活用することにより低炭素な循環型農業を目指す
浪江町	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度に運用開始予定の復興牧場で飼育する牛の糞を活用した肥料の一部を大熊町・双葉町の農地に提供
トヨタ	<ul style="list-style-type: none"> 大熊町・双葉町の農地の土壌成分データの計測・分析、ドローンによる生育状況把握など、これまでの浪江町などにおける研究・開発で得た知見の提供



また、将来的には、トヨタなど民間6社が参画し、エタノールの効率的な生産システムを研究する「次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合」（福島県双葉郡大熊町）との連携を目指します。大熊町・双葉町の農地で収穫した作物をバイオエタノール燃料の原料として提供するなどの検討を進めてまいります。

大熊町・双葉町・浪江町・トヨタは、震災からの復興に向け連携を深め、低炭素な循環型農業、肥料・飼料の地産地消による輸送時CO₂削減などを通じて、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進していきます。